

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2010年  
4月号

## 目次

- ☆外に出よう案内 . . . . . 3
- ☆虫めがね . . . . . 4
- ☆学習会 . . . . . 5
- ☆小野塚さん連載 . . . . . 6
- ☆実習所報告・和栗さん連載 . . . . . 7
- ☆丸岡さん退職 . . . . . 8
- ☆内田さん退職 . . . . . 9
- ☆寄付のお礼  
スケジュール・署名報告 . . . . . 10
- ☆夕会便り . . . . . 11
- ☆編集後記 . . . . . 12



三寒四温では無いですが、寒かったり暑かったりと気候の変化が激しい今日この頃。皆様、病気にお気を付けてお過ごし下さい。

田村 亮彦

## 第17回 障害者は外に出よう

『車椅子とともにハイクDE中央線』～東京から吉祥寺～



この取り組みは、「今まであまり遠出したことのない障害者が外に出て景色を観たり、気に入った物を買ったり飲んだりして楽しんでもらいたい」と思い、始めた行事です。

ひと班の構成は8名～10名で、介助の必要な障害者に対し3名のボランティアという組み合わせで行動してもらいます。障害者の方を迎えに行ってもらい公共交通機関（今回は吉祥寺周辺）を利用して目的地を散策して最終的には集合地点（今回は田町駅港南口）に戻っていただき簡単な反省会をして解散となります。また思い出を俳句（川柳）に残していただき文集として後日参加者にお渡しします。

### ～参加者は全体集会へ～

全体集会とは、当日の集合場所や行き先の希望・ルール説明・及び班の方との顔合わせ等、班での話し合いや、事前確認のため開催している会です。

障害をお持ちの方もボランティアの方も事前にどこに行きたいかなどの希望を考えたり、調べたりしておくと思います。

また、ボランティア未経験の方のために、介助の仕方や車イスの押し方等を、この機会に班内で確認し合って頂きたいと思います。



以上のようなことを行うので、全体集会にはなるべくご出席下さいますようお願いいたします。全体集会参加者の皆様には後日、ご案内を送付いたします。

また、全体集会当日は、障害をお持ちの方を会場まで送迎致しますので、ご希望の方は申し込み時にお知らせ下さい。全体集会のご案内と一緒に送迎時間もお知らせします。

全体集会 5月8日（土）PM2時～4時

会場 港区役所9階大会議室

\*応募方法は次ページに記載



# 応募方法

「障害者は外に出よう」実行委員会事務局（風の子会内）に、下記の事を電話、もしくはFAXして下さい。

- ① 性別と職業（社会人か学生か）、資料送付先（自宅住所と電話番号）
- ② 5/8（土）の全体集会に参加できるか、また、5/16（開催日）が中止の場合、予備日である23日には参加可能かどうか。また、ボランティア経験の有無。



- ③ 障害をお持ちの方は、車椅子を使用しているか、全体集会と合わせて開催日当日も送迎が必要か否か。車椅子がない方で当日使いたい方はお申し出下さい。車椅子の貸し出しも致します。



\* 障害をお持ちの参加者の方は、  
港区周辺を考えております。

\* 行事保健に加入しますのでご安心下さい。



参加者募集締切：障害を持つ方は4月30日（金）  
ボランティア希望の方は5月1日（土）

日時：5月16日《日》9時頃～16時半まで  
※雨天延期の場合は5月23日《日》

参加費：500円

お問い合わせ：障害者は外に出よう事務局 風の子会内

TEL 03-3474-9674

Eメール sotodeyo@yahoo.co.jp



担当者 岡本 裕介

# 虫めがね

テーマ 好きな音楽

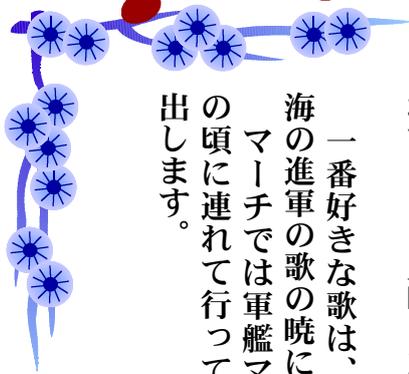


マイケルジャクソンが好きです。  
マイケルの代表作として、「スリラー」は発売当初からのロングヒット、売上第一位を記録し、今現在はもっと売れています。

「ディス・イズ・イット」はマイケルの遺作として、素晴らしい映画作品でした。  
会見ではイギリスのロンドンでコンサートをやる約束をしましたが、公演前に亡くなってしまいました。

いろいろな問題を抱えていたマイケルですが、そのリハーサルを納めた映画の中では、つらさを見せず、素晴らしいダンスを見せてくれていました。  
あのスリラーも、お化け衣装、ダンスともにリメイクされていました。  
踊る姿、かっこいいです。

松本 恵司



一番好きな歌は、軍国歌謡だった荒城の月と、海の進軍の歌の晩に祈るです。  
マーチでは軍艦マーチです。これを聞くと子供の頃に連れて行ってもらった海軍の進水式を思い出します。

和栗 顕太郎



好きな音楽と言っても、クラシックから、歌謡曲・邦楽と、色々あるが、私が生まれ育った頃は、すでに軍国時代で、ラジオからは、国民歌謡が流れてくる。土曜日だけ好きな音楽が聴けた。



僕の好きな音楽は、日本で生まれ、日本で育った演歌です。僕は悲しいとき、嬉しいとき、演歌は僕の心に、深く刻み込まれているのです。中でも僕が好きな演歌は、ど演歌と言われているもので、歌手で言えば、北島三郎、川中美幸、といったところでしょうか。  
とにかく僕はこれからも、演歌を愛し続けて、行きたいと思っています。

太田 稔



# 学習会だより



## 二月十七日【バンクーバー・オリンピックについて①】

前半と後半を使って、バンクーバー・オリンピックのテレビ中継を皆で観戦をしました。この日行われていた種目は「男子フィギア予選」で、日本人選手では「織田信成選手」や「高橋大輔選手」らが登場すると、皆で応援をしました。選手の真剣な眼差しが、今でも目に浮かびます。

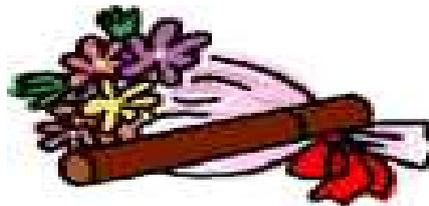


## 二月二十四日【オリンピック②&送別会について】



前半は、バンクーバー・オリンピックのテレビ中継を皆で観戦をしました。この日行われた種目は「女子フィギュア予選」で、日本人選手では「浅田真央選手」や「安藤美姫選手」らが登場すると、皆で応援をしました。韓国の「キム・ヨナ選手」が登場すると、浅田選手とライバルということなので、テレビを皆で真剣な顔をしながら見ていました。

後半は、この日で退職をする職員の小林さんの送別会を行いました。司会は、太田稔さんと職員の丸岡さんでした。司会者から小林さんへの質問タイムがあり、メンバーからの質問タイムもありで楽しい送別会でした。最後には、一人一人からお礼の言葉や励ましの言葉などが送られ、花束やプレゼントなども送られました。小林さんお疲れ様でした。



## 三月三日【今後の予定について】

三月～四月までの学習会の予定を決めました。三月をもって職員二名が退職するため、送別会や散歩などを行うことになりました。



田中 聡



## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第25話 夜、寝るために飲む

夜型のライフサイクルを朝型に戻す。その際に一番大事なことは、夜に布団に入ってちゃんと寝られるようなサイクルに（あるいは体質に）改善していくことだ。では具体的には何をどのように変えていくのか。部屋が静かになったことで、とりあえずはそれまでにあった夜の誘惑—麻雀、カラオケ、ドライブ、ボーリング、飲み会 etc.エトセトラ・・・—から目を逸らせるようにはなった。けれどだからといって簡単に夜に寝られるようになるはずもない。高校3年、いわゆる受験生の頃から浪人時期にかけて、将来への不安やらなにやらでなかなか寝付けないことが多かった。加えて寮に入ってから夜遊び三昧である。体中が夜の間じゅうずっと起きているという体質にどっぷりと浸っていた。そんな体質を一朝一夕に変えようというのは、ドラスティックなアイデアでも浮かばない限り容易なことではない。

そこで思いついたのが、寝る前にビールを一杯飲んでベッドに潜り込めば、どうにか眠れるのではという、浅はかにも思えるが同時に真剣でもあるアイデアだった。実を言えば、僕は大学に入るまでは酒があまり飲める方ではなかった。寮に入った初日のイベントの入寮式では、グラスに注がれた1杯のビールを飲み干すことがなかなかできず、結局最後までその1杯だけで終わらせてしまったほどだ。けれど、寮での様々な行事や飲み会、あるいは夜遊びなどを通して飲むことの楽しさを少しずつ覚えていったのだ。飲むことで、いつもならとてもできないような大胆な振る舞いをとることもできたし、また時には酔うことで本音をぶつけあい、真剣に語り合うこともできた。アルコールというのは、コミュニケーションにおいて一定の潤滑油的役割を果たすという話を聞いたことがあるが、確かにそれは真実だと思う。もっとも、度を越えた飲酒は厄介を生む以外の何物でもないということも確かだが。

話を戻そう。当時の僕は缶ビールを1缶も空ければ十分に酔える体だった。風呂上りに濡れた髪を乾かしながら缶ビールを開け、テレビをぼんやりと眺めながらマルボロをふかす。ビールを空けるとベッドにもぐりこむ。そうすれば、とりあえずは夜に寝ることはできた。これを習慣化することができれば、それまでの不健全なライフスタイルからまっとうな人間の生活リズムに戻れるかもしれない。まっとうな人間に戻れば、まっとうに大学に行き、まっとうに授業を受け、まっとうに単位を取れるかもしれない。それが、卒業に近づくための第一歩なのだ。

そんな思いで、僕の毎夜の一人晩酌は始まった。

～ 第26話につづく ～

# ★ ★ ★ 実習所報告 ★ ★ ★

二月十二・十三日と  
実習所が使えなかつたため、ヒューマンぷらざを借りて活動しました。



十二日は実習所から持ち込んだ物で主にテーブルームを、十三日はカラオケの機材を借りて皆でカラオケをしました。カラオケの機材関係を借りるのはタダと言う事なので、今後何らかの機会に借りてまた歌いたいです。

二月二十一日に高浜荘消防訓練が行われました。当初は放水訓練を三階ベランダで行う予定でしたが、諸事情に因り裏の公園で行われました。風の子メンバーは公園への避難はせずに三階で待機だったので其の事は知らず、放水訓練が出来ず仕舞いでした。その後三階会議室に集まり話を聞き、解散後にアルファ米から作られた赤飯と豚汁・乾パン・保存水を頂きました。それらを昼食として食べた後、皆でららぽーと豊洲に買い物しに行きました。



三月五日・六日も実習所が使えなかつた為、またヒューマンぷらざで活動しました。五日は昼食を摂った後外出すると言う事になり、決を取った結果銀座に行く事になりました。銀座に着いてからは数班に別れ、個々で楽しみました。六日はまたカラオケの機材を借り、カラオケを楽しみました。

田村 亮彦



オジさん・オバさんが  
若いお嬢さん達に交じって、  
若くなつたつもりで仕事を  
やっています。

立石 豪



## シベリア出兵秘話

### 最終話前編

佐伯中将は、瀬藤大佐（少将）に歩み寄り、君には、関東軍司令部参謀次長をやってもらおう、そう長い期間ではないから頑張ってくれ頼む。佐伯は頭を下げた。佐伯は、原吉少佐（中佐）に振り向くと、原吉君ご苦労、副官として、瀬藤部隊長をよく補佐してくれた。この作戦は君が部隊長をよく補佐してくれたおかげだ。

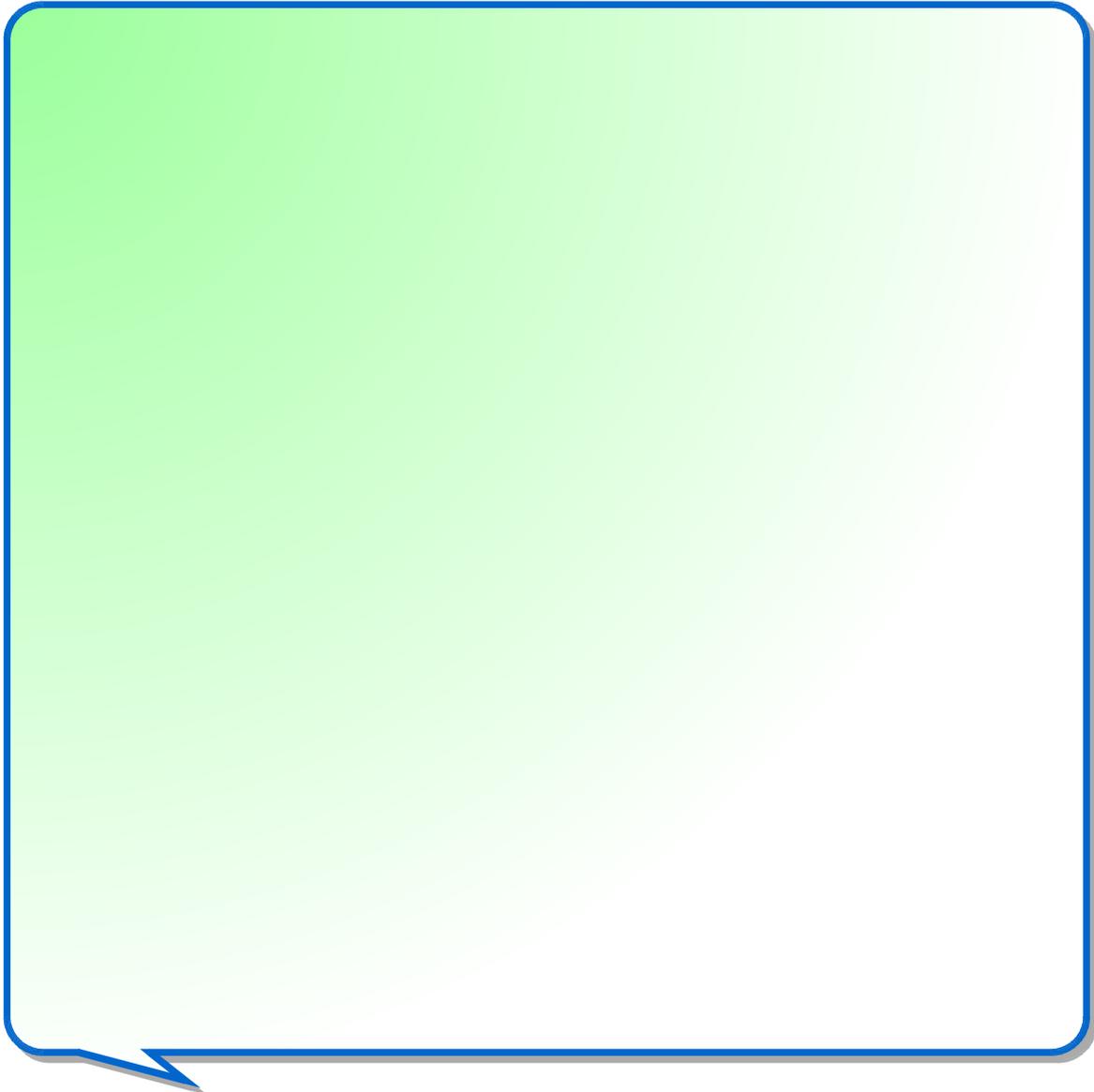
佐伯は上機嫌で 何度も原吉の手を握って、佐伯は、真顔になると、原吉中佐には御苦労だが、この部隊全員を指揮して関東軍の、君の新しい任地であるハルピンに司令部を置く歩兵第六師団令、陽春に駐屯をする 第二混成旅団に編入するので、ハルピンまで引率を頼む。原吉中佐は不動の姿勢で、はい。わかりました。では閣下行って参りますと、早足で去っていた。

栗 あきら



# 丸岡秀明さん退職

約13年間、風の子会の職員としてお世話して下さった丸岡秀明さんが、この度退職されることになりました。長い間ありがとうございました。



# 内田千春さん退職

約9年間、風の子会の職員として盛り上げてくれた内田千春さんが、この度退職されることになりました。今後も何処かでもりあげてくれるでしょう！



早いもので、私が風の子会に就職をして約9年が経ちました。専門時代の友人の紹介で知り、ボランティアから始め、職員となりました。学校で実習や講義を受けていたので多少は出来る、と勝手に思って臨んだのですが、実際現場に立ち合うと戸惑う自分がいました。そんな自分が恥ずかしくなりました。現場に慣れていかないと、とまず感じました。

当時は二作業所で青山と高浜に分かれており、最初私は青山にいました。そして、青山実習所は芝に移転し、芝が改装中の間は障害保健福祉センターのお部屋をお借りし、改装後は芝に戻り、暫くしてから高浜に異動。そこで落ち着くかと思えば、数年後また芝に異動。それから1年半して一作業所になり、再び高浜に戻って今に至ります。

意図していない事でしたが、経験が少ない分二作業所のメンバーとより多く関わった事が介助なりその人となりを理解する事が出来、良かったと思っています。

また、企画工房と両方に関わった事でパソコンを使った作業、細かい作業の自主製品作りと自分の不得意なところを克服する事が出来ました。あと、他では出来ないデモ活動、署名、きょうされん大会にも参加し、障害者の実情、他の作業所の自主製品等、風の子でも参考になることも多く勉強になりました。自分自身の成長にも繋がりました。

3月末で風の子会を去りますが、ここでの経験は次でも生かせると思っています。私自身こんなに長く在職出来るとは思っていなかったのですが、ここまでこれたその背景にはメンバーやボランティア、職員方にお世話になり、支えて頂いたからです。

楽しい思い出や嬉しい思い出、思い出したらキリがありません。

逆に失敗や迷惑を掛けたことも数えきれない程あります。

そんな時も皆さんの笑顔に励まされました。

失敗を笑いに変えてくれました。

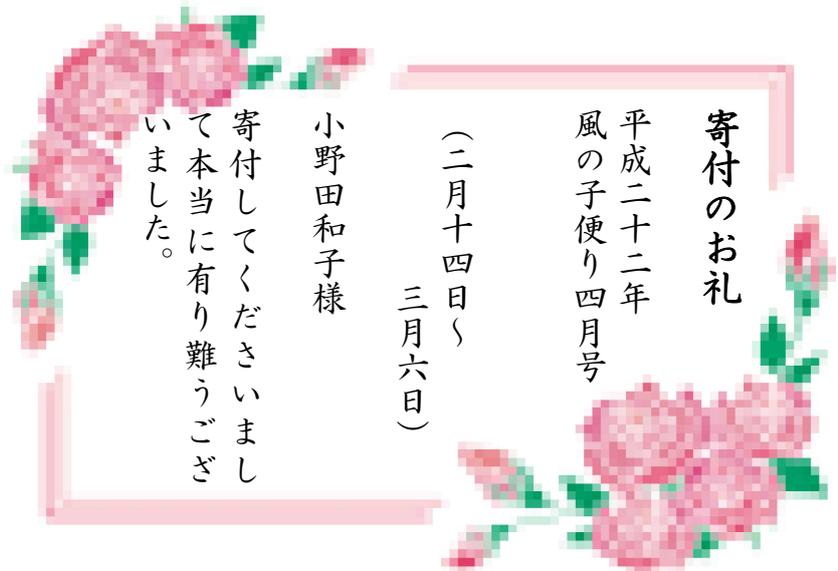


長い間、本当にお世話になりありがとうございました。

感謝の気持ちで一杯です。

時間が出来たら顔を出したいと思っていますのでその時は宜しくお願いします。

内田 千春



寄付のお礼

平成二十二年  
風の子便り四月号

（二月十四日〜  
三月六日）

小野田和子様

寄付してくださいまし  
て本当に有り難うござ  
いました。



スケジュール

5月8日（土）

○外に出よう

全体集会

5月16日（日）

○外に出よう

5月17日（月）

○振替休日

きょうせれん

第三十三回国会請願署名・募金運動  
経過報告

先月の会報で皆様にお願ひしました国会請願署名ですが、多くの方のご協力により沢山の署名と募金を頂いております。ここで、現在の署名数と募金額をご報告いたします。

三月八日現在

署名数・・・九十二筆

募金額・・・一万八千三百円

署名用紙を実習所にご郵送された皆様、再度署名にご協力下さった皆様、募金を下さった皆様へこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

なお、署名は四月下旬まで行っておりますので、よろしくお願ひいたします。

※署名用紙はまだ沢山ございますのでご希望の方はご連絡下さい。

署名担当 丸岡秀明・岡本裕介



# 夕会便り

担当・小野塚



二月二十七日の夕会ではうたとおどりのつどいについて。とりあえず形式的に参加不参加の決を採る。それからどんなことをするのかをみんなで話し合う。ミュージカル、ダンス、手話、劇などさまざまな意見が出る。今年の担当は新職員の二人だ。どんな風に僕らを導いてくれるのか今から楽しみだ。

昨年の  
うたおどり  
風景→→→



月が変わって三月七日の夕会。三月末で退職する丸岡さん、内田さんの送別会について。前送別会はみんなで話し合いながら決めるという方法だったが、今回は代表を募ってその人達に委ねようということに。次の議題は旅行について。日程の確認（九月四、五日）、そして候補地をいくつかリストアップし、今後絞っていくことに。三つ目の議題は先週に続いてうたおどりあれこれ。いろんな曲目が提案され、それをどう演じるかを具体的にイメージし模索していく。





# 編集後記



この時期は、卒業や入学シーズンですが、僕の過去を振り返るとチャレンジャーだったと思います。

それは、小学校へ入学する時には、国立大学附属の養護学校へ受験を受けに行ったりしましたが、不合格に終わり、また高校を卒業をするときには、もう一度学校で勉学を学びたくなり、夜間高校へ入学願書を提出間近までいったのですが・・・当時通っていた学校長の印鑑をもらえず放送大学の方へ入りました。

高校時代の当時は、僕の周りの方もエールや励ましなどをもらっていたことは、ありがたかったです。今は、風の子会の仲間と一緒にいるのが楽しいし、チャレンジをする勢いがなくなってきた今日この頃です。

タナッキー

このところ、僕の大好きだった芸能界の人たちが次々に他界して行ってしまい、がっかりしています。

「アドリブ」が、実に巧妙だった、森重久弥さん、役柄に忠実だった、藤田まことさん、それから落語会では、自称「星の王子様」の、三遊亭円楽さんといった具合に。

僕が今、好きな、落語家では、柳家小さんの弟子で、柳家小三次。僕が今感じていることは早く、芸能界の中から、第二の森重久弥さん、藤田まことさんが、出てきてくれるようにと望んでいます。

太田 稔



年明けからずっと、風の子でもプライベートでも慌ただしさが続き、自分がどこにいて何をしているのか（あるいは自分が何者なのか）、そういったことが漠然と且つ抽象的に感じられてしまうような日々を送り今日に至っている。

この一連のドタバタ劇も春を迎える頃には一段落しそうだが、一つの山を登ればまた次の山が見えるに違いない。それを考えるとうんざりしそうになるのでとりあえず今はそれらには目を向けず、目の前の事を成すのみだ。

小野塚 航



## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者  
吉右松田小太  
田田本中野田  
塚  
久磨恵 圭  
代子司聡航子

和幸三田佐太  
栗 木村久田  
頭 間  
太高直亮  
郎史人彦庸稔

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

